

YSCレポート

特定非営利活動法人 青少年自立援助センター 事務局 TEL 042(553)2575 FAX 042(551)6759
〒197-0011 東京都福生市福生 2351-1 E-mail :ysc@interlink.or.jp

理事長 河野 久忠

新年あけましておめでとうございます。

いつも YSC の活動にご理解・ご支援いただき大変ありがとうございます。

昨年度は社会的な変化に良くも悪くも翻弄された年でした。

<若者支援業界と人材不足>

人材不足の波は他分野だけのことではなく私どもも直面している課題です。日頃は支援した若者が社会に出ることで人材不足解決の一助になればと活動している側面がありますが、関わる職員の確保が困難な状況になってしまっているのが現状です。これは、医療・福祉分野も共通した課題です。とかく、若者支援と言うふわっとした課題に対して興味を持つ若者は案外少ないです。真剣に支援人材の育成を考えないと業界全体が停滞してしまい、さらに孤立を深める若者が増加する可能性が高まります。若者支援の担い手としても、若手だからこそその気づきやアイデアがあると思いますし、当事者と同世代の若者だから理解しあえることがあると思います。現在、若者支援の重要性が再度クローズアップされてきています。官でも議論等が始まっているようですが、支援者不足の観点からも、様々な分野から若者支援に興味を持ってもらえるような仕掛けを業界として考える必要があります。

<今こそ、アウトリーチの強化へ>

一方、ひきこもり支援に関しては、多くの自治体で相談窓口が設置され始めています。YSC は、自らのアクセスが出来ない層への関りが得意分野です。行政などの支援が増える中、そこからこぼれ落ちる若者への支援がさらに重要性を増してきていると感じています。

そのような状況に一定の有効性が認められ、近年広がりを見せてきている“アウトリーチ”ですが、誰でも彼でもやみくもアウトリーチをすればよいというわけではありません。当事者のこれまでの状況や家族関係など、環境の見立てをした上で関わりを持つことが大切です。当事者の表層上の想いと本心は乖離していることが多々あります。YSC では、長年多くの若者と関わりを持ち、出会いから、自立まで一貫してお付き合いしています。若者たちは、環境や出会いの変化に

よって気持ちが変わってゆきます。私たちは、今までの経験から目の前にいる若者自身の本質的な気持ちを想像しながら、誠実に関わりを持つことを大切にしています。どこにも繋がる事が出来ず、闇が闇を生む生活に少しずつでも小さな明かりをともしてくことが出来る支援を、今後も強化してまいります。

<海外ルーツ支援では中間支援活動を本格化>

海外にルーツを持つ子ども若者の直接支援を行ってきたYSCグローバルスクールでは、2020年より取り組んできた中間支援の活動をさらに発展させ、休眠預金活用助成事業における資金分配団体として採択されました。これは、全国で活動する海外ルーツ支援に取り組む団体に対し、助成金（資金的支援）と伴走支援をセットで実施するものです。これまでYSCが培ってきた海外ルーツ支援の経験とノウハウを広く、全国の団体に届けていくことを通じて、この支援領域全体の底上げを図り、海外ルーツの子どもや若者・大人たちが安心して暮らせる環境づくりに貢献してまいります。

<共に、楽しみながら成長できるYSCへ>

今後いっそう、少子高齢化により若者の背負う責任はとて大きくなくなってゆきます。今の若者が求めたわけではありません。長期的に孤立状態にある若者にとってはますます明るい希望が見えにくい状況にあります。苦しみだけを持ちながら自立をしても何の意味ありません。毎日が充実して楽しく生きていける状況。大変なことがあっても、楽しみと相殺して心のバランスがとれる。そんな素地を作れる場を提供することがYSCのミッションです。それを実現していくためには、冒頭の人材の問題もとても重要です。社会全体で若者を大人へと成長させるきっかけ作りが大切と感じます。一緒に楽しみながら成長していける場づくりを本年も職員一同意識しながら頑張っていきたい所存です。今年一年も変わらぬご支援いただきたく思いますようよろしくお願いたします。

